

新着図書

新潮社から学習資料館へ寄贈されました図書を紹介します。

単行本

- ◆ 悩める日本共産党員のための人生相談(筆坂秀世)
- ◆ 忠臣蔵(秋山駿)
- ◆ いつかX橋で(熊谷達也)
- ◆ 儚い羊たちの祝宴(米澤穂信)
- ◆ 天使の歩廊(中村弦)
- ◆ 彼女の知らない彼女(里見蘭)
- ◆ 草祭(恒川光太郎)
- ◆ 巢立ち(諸田玲子)
- ◆ どこから行っても遠い町(川上弘美)
- ◆ 火と水と木の詩(吉村順三)
- ◆ 巡礼高野山(永坂嘉光 他)
- ◆ 無駄学(西成活裕)
- ◆ 中国の性愛術(土屋英明)
- ◆ あの時、マイソングユアソング(都倉俊一)
- ◆ しずかの朝(小澤征良)
- ◆ 君は誰に殺されたのですか(江花優子)
- ◆ 旅する力(沢木耕太郎)
- ◆ 鳥の仏教(中沢新一)
- ◆ 銀のみち一条〈上・下〉(玉岡かおる)
- ◆ 移民環流(杉山春)
- ◆ 帰郷者(ベルンハルト・シュリンク)
- ◆ 調書(J・M・G・ル・クレジオ)

新書

- ◆ 人間の覚悟(五木寛之)
- ◆ テレビ番外地(石光勝)
- ◆ 先生と生徒の恋愛問題(宮淑子)
- ◆ 民主党(伊藤淳夫)

文庫本

- ◆ 七つの死者の囁き(有栖川有栖 他)
- ◆ 最後の恋(阿川佐和子)
- ◆ 旅行けばネコ(岩合光昭)
- ◆ 眠れぬ真珠(石田衣良)
- ◆ 客室乗務員の内緒話(伊集院憲弘)
- ◆ 十年不倫(衿野未矢)
- ◆ 美しき日本の面影(さだまさし)
- ◆ クラッシュ(佐野真一)
- ◆ 星に願いを(重松清)
- ◆ 藤原氏の正体(関裕二)
- ◆ 戦争を知っていてよかった(曾野綾子)
- ◆ 余命(谷村志穂)
- ◆ 沼地のある森を抜けて(梨木香歩)
- ◆ 猫泥棒と木曜日のキッチン(橋本紡)
- ◆ みずうみ(よしもとばなな)
- ◆ サーカスの息子〈上・下〉(ジョン・アーヴィング)
- ◆ ティファニーで朝食を(トルーマン・カポーティ)
- ◆ 雪のひとひら(ポール・ギャリコ)
- ◆ 黒衣の処刑人〈上・下〉(トム・ケイン)
- ◆ うそうそ(畠中恵)

学習資料館からお知らせ

今年は、太宰治・松本清張生誕100年にあたります。1月はこの二人に関する本を集めて展示します。

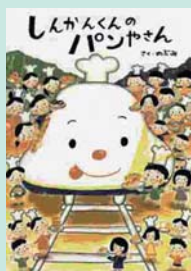
田沢湖図書館だより

今月のおすすめ

「挑戦！」

あたたかな、ふれあい社会を実現するために努力してきた著者が、そのあゆみを語ります。ボランティア活動の発展ぶりがわかる1冊です。

(堀田力著 東京新聞出版局)



「しんかんくんのパンやさん」

おなじみの電車が今度はパンを焼くんだって?うまくできるかどうかは、読んでのお楽しみです。

(のぶみ著 あかね書房)

新着図書紹介

- 茶の湯はじめ(檀ふみ)
- 午後の音楽(小池真理子)
- とんび(重松清)
- カビと酵母(小崎道雄)
- 森の芽生えの生態学(正木隆)
- いいかげんがいい(鎌田実)
- 利休にたずねよ(山本兼一)
- モニタールーム(山田悠介)
- 克己心(宇津井健)
- 飾って楽しめる木彫入門(早瀬百合子)

1月の休館日

1日～5日(年始) 12日(成人の日)
13日(振替休館) 19日(月)
26日(月)

ごあいさつ 田沢湖図書館と学習資料館を、本年もよろしく申し上げます。